

テーマ設定型事業（令和7年度活動事例）

「もりおか駅前開運ホコテン」

事業の概要

ウォーカブルな街づくりを掲げ、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかを形成することを目的に、盛岡駅前通りの車道を歩行者天国とし、路面店の出店のほか、地元特産品の販売及びさんさ踊り等の披露を行いました。

◆実施内容

・もりおか駅前開運ホコテン

盛岡駅前商店街振興組合を中心に、盛岡市・岩手県・JR東日本盛岡支社・IGRいわて銀河鉄道株式会社等の協力を得ながら、盛岡駅前通りを歩行者天国にし、3年目となる「もりおか駅前開運ホコテン」を開催しました。また、開催日はJR東日本観光キャンペーン「重点共創エリア指定」のオープニングイベントと同日とし、本イベントとの共催の形で実施しました。

歩行者天国では、地元商店街を中心に約15店の路面店が出店したほか、盛岡市の特産品の販売を行いました。また、地元団体によるさんさ踊りやダンス・演奏等のステージ披露、つくたて餅のお振舞やチャグチャグ馬この乗馬体験、ふわふわトランポリンなどのアトラクション等を準備し、大人から子どもまで楽しめる工夫を施したことで、回を重ねるごとに来場者が増加しており、今では来場者が約3万人規模となるイベントに成長しました。

事業の実施を通して

本イベントは国土交通省が推奨する「ウォーカブルなまちづくり」をキーワードに、歩行者天国によるイベント開催したことで、市民・県民等の皆様に「歩いて楽しむ街」としての盛岡を認識していただける取組になったと考えています。

また、来場者も増加しており、出店した飲食店の売上も伸びていることから、盛岡の食の魅力も十分に発信することができたものと考えております。

今後も様々な街づくりの提案を行うことで盛岡駅前地区の魅力を創出・発信し、これからの街のカタチを皆様と共有しながら、持続可能な街づくりへの取組を進めてまいります。

（盛岡駅前商店街振興組合）

【実施主体】

盛岡駅前商店街振興組合

【設立年月】 昭和49年7月

【代表者】 代表理事 石田 和徳

【主な活動実績】

○もりおか駅前開運ホコテン

令和5年度より国土交通省が推奨する「ウォーカブルなまちづくり」に合わせて、盛岡駅前を歩行者天国にして歩いて楽しむ街の実現のために実施

○盛岡駅前開運！のみあるき

参加する各店の認知度向上とともに、閑散期の集客を目的として実施。普段なかなか行くことのない飲食店に来店できる「ドキドキ感」と店員や他の参加者とのふれあいを通して、商店街の魅力向上に繋がっている取組

【協働担当課】

経済企画課

【令和7年度補助額】 400,000円

